



土岐市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化が一因とされる気候変動は、世界的に深刻な自然災害をもたらしています。国内においても経験したことのない集中豪雨や大型台風が発生し、また熱中症をはじめとする健康被害が深刻化するなど、温室効果ガスの削減は急務です。

2018年に公表された「IPCC特別報告書」では、世界の平均気温の上昇を1.5℃の水準に抑えるためには、二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロにする必要があるとしています。

本市は、地場産業である陶磁器産業を中心に発展してきました。未来へ向けて産業活動や生活環境を持続させるには、温室効果ガスの排出量を削減するとともに、森林の整備など二酸化炭素の吸収量を増やす取り組みも求められます。

脱炭素社会の実現に向け、市民や企業、行政が一体となり、いっそうの地球温暖化対策に取り組むことにより、本市が2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに表明します。

2024年3月28日

土岐市長 加藤 淳司